

大原記念財団 内感染管理セミナーを開催しましたところ、 多くの地域医療機関の先生方のご参加を賜り、 誠にありがとうございました！

平成 28 年 9 月 9 日（金）福島テルサ FT ホールにおきまして、大原記念財団 院内感染管理セミナーを開催いたしました。講師は、くまもと森都総合病院 感染対策室 感染管理認定看護師の満井美奈子様でした。「大規模災害時の感染対策～熊本地震での活動を含め～」というテーマで、平成 28 年 4 月に発生した熊本地震発生時の状況や対応について多数の写真をお示し、お話をいただきました。参加者は 5 年前の東日本大震災で体験したことを思い出しながらの聴講となりました。

感染対策はもちろんですが、職員自ら管理する個人備蓄や緊急時飲料供給ベンダー（緊急時、無償提供可能な飲料水の自動販売機）の導入のお話など、平常時から備える対策についてご提案がありました。

熊本は未だ余震が多く発生しているそうです。復興には 10 年かかると言われ、講師自身不安な毎日を過ごしているとのことでした。福島状況を視て、「5 年経った福島の皆さんの姿を見て、みんなで頑張ればきっと復興できると確信しました。福島での情報を熊本で伝え元気になってもらえるように頑張ります」との言葉が聞かれました。

平常時から備えることの重要性を再認識した講演会となりました。

ご参加いただきました地域医療機関の先生・医療スタッフの皆様方におかれましては、お忙しい中誠にありがとうございました。



学会発表

◆日本医療マネジメント学会 第 15 回東北連合会学術集会・第 7 回福島支部学術集会

9 月 17 日（土）、郡山市民文化センターにおきまして「日本医療マネジメント学会 第 15 回東北連合会学術集会・第 7 回福島支部学術集会」が開催され大原記念財団より、3 題の発表がありました。

1. 「当院手術室における針刺し・切創低減の取り組み」
（大原総合病院・手術室 増川美智子）
2. 「患者誤認防止への取り組み」
（大原医療センター・医療安全管理部 梅津多恵子）
3. 「当財団における BLS プロバイダーコースの地域への働きかけ」
（大原総合病院 遠藤裕佳子）



今後も医療の質の向上及び医療安全確保のため、財団として持続的に取り組み医療の発展に努めてまいります。

国際医療福祉大学大学院 教授 武藤 正樹先生による勉強会 を開催しました



9月12日(月)、大原総合病院にて「武藤 正樹 先生 大原記念財団理事・国際医療福祉大学大学院 教授・入院等の調査評価分委会 会長(中医協)」による勉強会を開催しました。

はじめに佐藤 勝彦 統括院長による「福島県北の地域医療構想策定について」と題し、当該医療圏の今後の医療提供体制や急性期医療の方向性について、説明がありました。

次に武藤 正樹 先生による「大原グループとして目指すべき機能分化」と題し、国の医療政策から当グループの今後の方向性についてアドバイスをいただきました。



勉強会には職員や医師約80名の参加もあり、活発な勉強会となりました。

地域の中核病院としてのあるべき姿と今後のビジョンに向かい取り組んでいきたいと思っておりますので、開業医の先生方におかれましても、引き続きご支援ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

Information

小児科病棟の夏祭りに栄養科が初めて参加しました。いつものかき氷に一工夫したトッピングを考えました。カルピス味のさっぱりしたかき氷にフルーツやゼリー、ポッキーを飾り、まるでパフェのようなかき氷となり、参加されたみなさんに喜んでいただけました。来年も喜んでいただけるよう、楽しい夏祭りメニューを考えてまいります。



平成28年8月25日(木)・8月31日(水)に大原総合病院にて看護学生を対象としたインターンシップを開催いたしました。計3名の学生の方が参加され、当院への理解を深めて頂きました。病院見学は随時募集中です。興味のある方がお近くにいらっしゃいましたら、ぜひご案内ください。



平成28年9月3日(土)大原総合病院(本院)にて、看護理論抄読会を開催いたしました。今回は「ベナーの看護理論」について取り組み、担当グループを中心に、症例を基に学びました。また、佐藤エキ子部長により総括をしていただいたことで、更に学びを深める事が出来ました。看護部管理者39名が参加し、ベナー理論の学びから、「自分たちが日頃行っている看護実践の意義を感じる事ができ、また看護の力に誇りを感じた。」との感想も示されました。



大原記念財団の理念

人を愛し、病を究める

私たちは、すべての患者さまとご家族のために常に一歩先行く医療を探求し、優しさを持って最善を尽くす医療を実践することにより、地域から信頼される病院を目指します。

制作 大原総合病院 地域連携相談室
発行者 一般財団法人大原記念財団
理事長 平子 健
電話 024(526)0371 ダイヤルイン
FAX 024(526)0935
代表 024(526)0300 内線(1157)
住所 福島市大町6番11号

大原記念財団職員行動規範 10カ条

私たちは、

1. 医療安全を確立し、安心と信頼を獲得します。
2. 命の尊厳を深く理解し、患者さまの権利を尊重します。
3. 優しさを持ち、気づきの医療を実践します。
4. 人間性豊かな医療人となるよう、常に自己研鑽します。
5. 新しきことへの挑戦し、質の高い医療を創造します。
6. 医療人としての誇りを持ち、如何なる時も最善を尽くします。
7. 医療情報の共有と活用を促進し、得られた情報は厳格に管理します。
8. 地域社会に支えられていることを認識し、医療連携を推進します。
9. 相互に敬意を払い、連携を密にして組織的に行動します。
10. 未来への発展のために、健全経営を目指して努力します。